



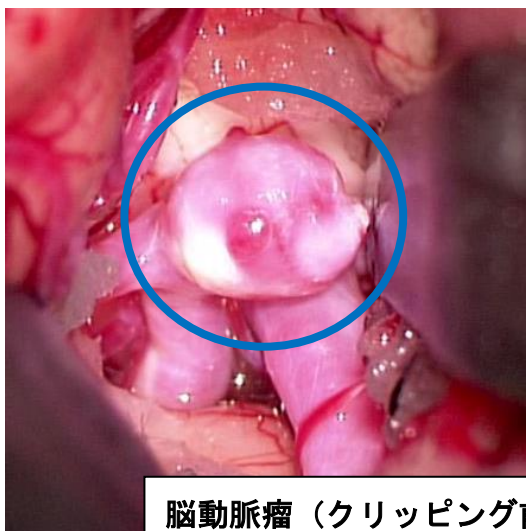
未破裂脳動脈瘤の治療：クリッピング術

前回までは脳ドックの重要性、未破裂脳動脈瘤の自然歴や治療方法の概略（クリッピング術とコイル塞栓術）についてお話しさせていただきました。今回はこのうちの代表的な治療方法のひとつである「クリッピング術」について少し詳しくお話しさせていただきたいと思っております。

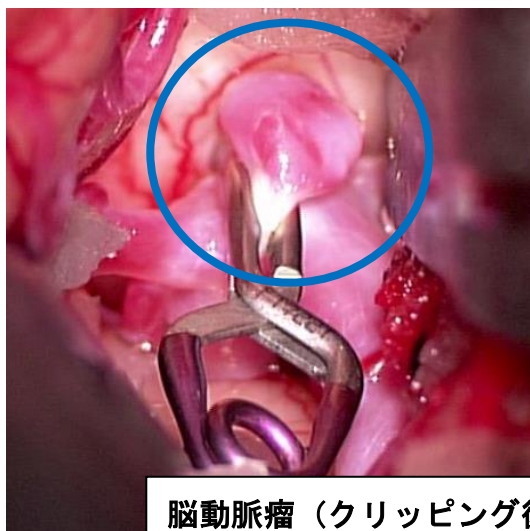
「クリッピング術」は脳動脈瘤の根治療法とも呼ばれ、動脈瘤を直接観察し、チタン製の医療用クリップを用いて動脈瘤を根元から閉塞させる手術方法です。30年以上の歴史があり確立されている治療方法で、手術を行った動脈瘤に関しては破裂の危険性をほぼなくすることが可能です。ただ、頭の骨をあける（開頭する）必要があります。しかし従来からの開頭方法を基礎から改良し、術後の美容的な不都合や痛みがより軽減されるように十分配慮した手術方法や術後管理を行っています。

当院では単純なクリッピング術のみならず、通常では対処できないような治療困難な動脈瘤に対しても、バイパス術の併用や血管内治療とのコラボレーションも含めた複合治療を可能としており、最も安全・確実に治療を完遂できる治療方法を選択するようにしています。

治療方針は患者様の年齢・状態や個々のご希望によっても異なり、担当医とよくよく相談した結果決めてまいります。疑問点などがあれば遠慮せず何でも担当医に聞いていただくことをお勧めします。



脳動脈瘤（クリッピング前）



脳動脈瘤（クリッピング後）

脳神経外科は24時間体制で脳卒中診療を行っております。お気軽にご相談下さい。

TEL : 06-6672-3121 (代)